

資料 履修モデル

資料B-2 医療生命薬学コース【履修モデル】

育成人材像：優れた研究能を有する薬剤師、あるいは臨床を熟知した薬剤師の視点から新しい医薬品の研究や臨床開発など幅広い分野で活躍できる研究者

研究テーマ：生体内分子を標的とした創薬および作用機序解明の研究

薬学専攻博士課程	1年	臨床薬剂情報学特別実験研究	病態薬理学特別実験研究	生命薬科学系先進特論講義 (2単位)	先進特別講義1 (3単位)	科学英語コミュニケーション先進演習 (2単位)
	2年		先進特別講義2 (3単位)	医療生命薬学先進演習 1 公開文献セミナー、総説講演 (2単位)		
	3年	10単位	10単位	医療生命薬学先進演習2 学会発表とその報告 2回 (2単位)		
	4年			医療生命薬学先進演習3 学外研修 (2単位)	論文審査	最終試験 (博士論文発表会)

想定される就職先等：薬学専攻博士課程「医療生命薬学コース」の学生は、医薬品による薬物治療や体内動態、医薬品の創製や開発、天然物由来動植物からの生理活性物質の探索や合成、遺伝子治療、医薬品の適正使用、疾病予防など幅広い医療生物薬学や医療科学に関連した教育研究を学修することになる。したがって、4年間の教育研究を通じて、将来、臨床現場においてリサーチマインドを有する薬剤師、健康食品や化粧品の研究開発および行政への申請に携わる人材、企業において医薬品の研究開発や治験に携わる人材、大学における基礎分野の研究者、国公立・財団法人・社団法人の各種研究機関における研究者等の輩出を想定している。